

がまんしな い。つらく ない。が んばら ない。

患者さんが、安心して治療を受けていただけるように。
副作用の軽減、痛みの緩和、遺伝子レベルでの薬の選択、
専門医による臨床試験に基づいた化学療法、緩和ケアなど、
「がん医療の今、そしてこれから」について考えます。

向き合う
支え合う
立ち向う

入場無料
どなたでも
ご参加いただけます

日時：平成21年12月6日(日) 13:30~16:30 (開場 13:00)
会場：富山国際会議場 2階 多目的ホール201・202

講演 「肺がんの新しい治療 ―分子標的療法―」
葉子井 達彦先生【富山大学附属病院 がん治療部長・准教授】

「消化器がんの治療の現状」
細川 歩先生【富山大学附属病院 第三内科診療准教授】

「がん緩和ケアについて ―痛みやつらさを一人で抱え込まないために―」
村上 望先生【富山県済生会高岡病院 外科部長】

主催：富山大学、北陸がんプロフェッショナル養成プログラム
後援：富山県、富山市、富山県医師会、富山県看護協会

申込・問合せ 北陸がんプロフェッショナル養成プログラム事務局(生活ネット研究所内) F939-8083 富山市小杉120 TEL 076-428-9166



JR富山駅前より
○徒歩で約15分
○地鉄バス約5分「城址公園前」下車、徒歩3分
○市電富山大学行き乗車、約5分「丸の内」下車、徒歩3分
駐車場数(有料)に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

13:30 はじめに 北陸がんプロフェッショナル養成プログラムの取り組み

菓子井 達彦先生 [富山大学附属病院 がん治療部長・准教授]

13:35 「肺がんの新しい治療 ー分子標的療法ー」

菓子井 達彦先生 [富山大学附属病院 がん治療部長・准教授]

▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼

肺がんは、がんによる死亡のトップを占め、年間7万人近くの患者さんが亡くなっています。検診や画像診断の進歩にもかかわらず、がんが全身に広がった「進行がん」の状態です。初めて発見される患者さんも少なくありません。そのために、肺がんに対して分子標的療法をはじめとした新しい治療法の開発・研究が積極的に行なわれています。これらのお薬は、従来の「抗がん剤」と比較して、吐き気や倦怠感などの副作用が少ないことがわかっています。そのために、高齢の方や体力が落ちているような患者さんにも投与が可能であり、従来の治療では得られなかったような劇的な効果を発揮することも少なくありません。講演では、肺がんの分子標的療法の実際と将来展望についてお話ししたいと思います。

講師
プロフィール
1994年富山医科薬科大学大学院医学研究科修了(医学博士)。米国・国立癌研究所(National Cancer Institute)客員研究員、富山医科薬科大学附属病院第1内科助手、大阪市立総合医療センター臨床腫瘍科副部長、大阪市立総合医療センター臨床腫瘍科部長、大阪市立大学医学部臨床教授などをへて、2007年より現職。

14:30 「消化器がんの治療の現状」

細川 歩先生 [富山大学附属病院 第三内科診療准教授]

▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼

わが国の死因の第1位はがんであり、増加しつつあります。消化器がんには食道がん、胃がん、大腸がんなどが含まれますが、胃がん、大腸がんはがんによる死亡の第2位、第3位を占めています。消化器がんの治療法には、切除(カメラや手術療法)、抗がん剤治療や放射線治療があり、着実に進歩しています。講演では食道がんに対する化学放射線療法(抗がん剤と放射線をあわせた治療法)、胃がん、大腸がんに対する抗がん剤治療を中心に消化器がんの治療の現状についてお話ししたいと思います。

講師
プロフィール
1995年札幌医科大学医学部卒業後、札幌医科大学第一内科。1996年市立釧路総合病院内科、1999年国立がんセンター中央病院内科、2002年国立がんセンター東病院消化器内科、2004年札幌医科大学第一内科、2006年八尾総合病院内科をへて、同年富山大学附属病院第三内科、2009年より現職。

15:25 休憩

15:35 「がん緩和ケアについて ー痛みやつらさを一人で抱え込まないためにー」

村上 望先生 [富山県済生会高岡病院 外科部長]

▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼

以前は、「がんの緩和ケア」というと終末期に行われるものと考えられがちでしたが、最近では、「がんの早期からの痛みなどの症状の緩和」が重要と考えられるようになってきています。がん患者さんには、痛み、食事がとれなくなる、便秘、むくみ、呼吸困難などいろいろな症状があります。がんによる痛みは、医療用麻薬を正しく理解して適切に使うことにより、80~90%はコントロールが可能です。その他の症状も、医療者側が正確な知識を持っていれば、ほとんど解決することができるようになってきています。講演では、これらの緩和ケアについての知識を最新の情報を含めてわかりやすくお話ししたいと思います。

講師
プロフィール
1985年金沢医科大学医学部卒業後、金沢大学医学部第一外科学教室入室。1986年同大学医学部大学院第一病理学講座入学、1990年同大学院卒業。1990年厚生連高岡病院外科、2001年石川県立中央病院一般消化器外科医長、2002年同病院一般消化器外科 外科部長をへて、2007年より現職。2007年6月より富山大学臨床教授も務める。

16:30 閉会あいさつ

杉山 敏郎先生 [富山大学医学部内科学第三講座 教授]

<座長> 杉山 敏郎先生 [富山大学医学部内科学第三講座 教授]

受講希望の方は、下の受講申込書にご記入の上 **FAX.076-428-9156**までお送りください。

※ 整理券は発行しません。当日会場(富山国際会議場)へお越しください。

受講申込書

右の枠内にご記入の上、12月3日(木)までに下記番号までFAXをお送りください。グループで参加の場合は代表者の氏名のみ記入し、グループの参加人数をお書きください。

FAX.076-428-9156

フリガナ	
氏名	
所属	参加人数(代表者含む) 名

※ 整理券は発行しません。当日会場(富山国際会議場)へお越しください。